

明寿海上人展①

湯殿山行者



明寿海上人 写真

令和5年9月1日
～10月1日

うち金・土・日曜日開館

開館時間 9時～17時

観覧料 一般200円（常設展含む）
中学生以下無料
団体100円（10人以上）



湯殿山大権現と弘法大師の対面図



あゆみしろ

白鷹町歴史民俗資料館

湯殿山には一世行人と呼ばれる、己一代の間だけ修行を重ねた山伏があり、山中に籠って修行し、中には穀物を断って自らミイラとなる即身仏となる修行者もいました。

明寿海上人（1830～1909）は南陽市小滝の生まれで、湯殿山表口の大日坊に入門、仙人沢で修行して穀物を断つ木食行を修めました。

明治10年（1877）に塩田行屋（白鷹町十王）を建立し、本尊に湯殿山仙人沢の神仏を表した「御沢仏」を安置します。御沢仏は、明治時代の神仏分離以降、大きく変化した湯殿山の信仰を伝える尊像として貴重な仏像群となっています。



塩田行屋



御沢仏

行屋に寄進された調度品や生家に残された衣服などから、明寿海上人は南陽市や白鷹町、新潟県長岡市方面で活動し、多くの入から慕われたことがわかります。

この度、生家から数々の資料を調査・展示する貴重な機会をいただくことができ、明寿海上人についてご紹介する一回目の展示を開催します。



法衣



錫杖



数珠



焼香



お注連



場 所 白鷹町歴史民俗資料館
住 所 山形県西置賜郡白鷹町大字十王2558-1
電 話 0238-88-7160
開館日 金・土・日曜日
＊開館日以外の連絡は教育委員会へ 0238-85-6146

